基本方針1

市民・事業者が率先して行う「省エネルギー」の推進

Action1－1 日常生活の中で、できることから省エネルギー行動を実践する

Action1－2 断熱性能・気密性能が高い建物や高効率機器の導入促進

基本方針1　市民・事業者が率先して行う「省エネルギー」の推進

関連する SDGs のターゲット▸

Action1－1　日常生活の中で、できることから省エネルギー行動を実践する

「産業部門」「業務その他部門」「家庭部門」からの二酸化炭素（CO_2）排出量を削減する

市民　が取り組むこと

- 環境活動やセミナーなどに参加する
- 啓発用パンフレットやインターネットなどから情報収集する
- こまめな消灯やエアコンの適切な温度設定など節電に取り組む
- 夏の節電対策として、グリーンカーテンを設置する
- 家電の買い換え時には環境に配慮した商品を選ぶ　など

事業者　が取り組むこと

- 環境活動やセミナーなどに参加する
- 啓発用パンフレットやインターネットなどから情報収集する
- こまめな消灯やパソコンの省エネモードの活用など節電に取り組む
- 夏の節電対策として、グリーンカーテンを設置する
- 事業所の照明などの電化製品の交換時には高効率な商品に買い替える　など

市民・事業者の取組を推進するために

松江市・まつえ環境市民会議　は次のことに取り組みます

1－1－（1）　啓発活動
1－1－（2）　省エネチャレンジシート
1－1－（3）　グリーンカーテン運動

【詳細は次のページから】

Action1－1
日常生活の中で、できることから省エネルギー行動を実践する

消灯の徹底やクールビズ・ウォームビズなど、環境に配慮した選択や行動を推進するために、松江市・まつえ環境市民会議では啓発活動や省エネルギー行動の実践に向けた仕組みづくり等を行います。

1－1－(1) 啓発活動

市民・事業者に、「省エネルギー」の実践に関する情報発信や学習機会を充実させることで、生活や事業の中で実践できる行動の例や行動変容によって得られる効果・メリット等を様々な手段を用いてお伝えします。

対象：市民　対象：事業者

- 環境省が公表している「COOL CHOICE（クールチョイス）」や「ゼロカーボンアクション30」などの情報をわかりやすく整理した、啓発用パネルの作成・展示や出前講座を行います。
- まつえ環境市民会議と共同で、啓発用パンフレットの配布を行い、省エネルギー行動の実践を促します。
- 知見を有する民間企業と共同で、省エネルギーをテーマとするセミナーを開催し、省エネルギー行動の実践を促します。
- 環境月間の6月には、市報やSNSを使って地球温暖化に関する情報を発信します。

【COOL CHOICE に関するパネル展示】
場所：くりんぴーす（出典：松江市ホームページ）

▸「環境について学ぶ」に関する情報はこちら（松江市ホームページ）

▸ 相談窓口については、111ページの①⑳をご覧ください

環境コラム

「地球温暖化対策として、私たち一人ひとりができること」ってどのようなこと？

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、一人ひとりのライフスタイルを脱炭素型へ転換していくことが重要であり、まずは、できることから始める必要があります。

ここでは、実際にどのような行動を取るべきか、行動を変えることによる効果やメリットをまとめた「ゼロカーボンアクション30」を紹介します。

「ゼロカーボンアクション30」とは･･･

環境省が、家庭部門からの二酸化炭素（CO_2）排出量の削減目標の達成を図るための30個の取組を、8つのジャンルに分類したものを「ゼロカーボンアクション30」といいます。

【ゼロカーボンアクション30】　（出典：COOL CHOICE ウェブサイト（環境省ホームページ））

▸「ゼロカーボンアクション30」に関する情報はこちら
（COOL CHOICE ウェブサイト（環境省ホームページ））

対象：市民

1－1－（2） 省エネチャレンジシート

まつえ環境市民会議では、次世代を担うこどもたちに家庭で省エネルギーや循環型社会を意識した行動を実践し、環境負荷の少ないライフスタイルを身につけてもらうために、「省エネチャレンジシート」を市内の小学生に配布しており、今後も家族で実践できる取組の一つとして引き続き行います。

【2023（令和5）年度 省エネチャレンジシート】
（出典：まつえ環境市民会議ホームページ）

【2023（令和5）年度の実績】

参加人数	1,256名
二酸化炭素（CO_2）削減量	6.6トン

▸「省エネチャレンジシート」
に関する情報はこちら
（まつえ環境市民会議ホームページ）

▸ 相談窓口については、
111ページの⑳をご覧ください

環境コラム

個人でできる10の行動「ACT NOW（アクトナウ）」を知っていますか？

移動手段や使用する電力、食べ物など、私たちの普段の行動や選択が、温室効果ガスを減らすことにつながります。

国際連合広報センターが、気候変動対策として個人でできる10の行動を示したものを「ACT NOW（アクトナウ）」といいます。

▸「ACT NOW」に関する情報はこちら
（国際連合広報センターホームページ））

① 家庭で節電する
② 徒歩や自転車で移動する、
　または公共交通機関を利用する
③ 野菜をもっと多く食べる
④ 長距離の移動手段を考える
⑤ 廃棄食品を減らす
⑥ リデュース、リユース、リペア、リサイクル
⑦ 家庭のエネルギー源を替える
⑧ 電気自動車に乗り替える
⑨ 環境に配慮した製品を選ぶ
⑩ 声を上げる

対象：市民　対象：事業者

1－1－（3） グリーンカーテン運動

まつえ環境市民会議では、夏の節電対策の取組としてグリーンカーテンの普及に取り組んでおり、ゴーヤの苗を市民、公民館、小・中学校などに無料配布しています。

また、家庭や職場、学校などで育てられたグリーンカーテンの写真を募集し、優秀な作品を表彰する「グリーンのカーテンフォトコンテスト」を開催しています。

咲いた花の観賞や実の収穫、写真の撮影など、楽しみながら省エネ対策を行うことができる「グリーンカーテン運動」を引き続き行います。

【グリーンカーテン運動（ゴーヤの苗の配布）】
場所：松江市上下水道局駐車場
（出典：まつえ環境市民会議ホームページ）

【2023（令和5）年度 グリーンのカーテンフォトコンテスト】
（出典：まつえ環境市民会議ホームページ）

▸「グリーンカーテン運動」に関する情報はこちら（まつえ環境市民会議ホームページ）

▸ 相談窓口については、111ページの⑳をご覧ください

環境コラム

「グリーンカーテン」って何？

グリーンカーテンとは、二酸化炭素（CO_2）排出量の削減や夏の節電対策として、アサガオやゴーヤなどのつる性植物を育てて作る「日よけ」のことです。

十分に葉が茂った場合、太陽による熱エネルギーの約80％をカットする効果があり、夏の暑い日に葉っぱの間をすり抜けてくる涼しい風は天然のエアコンのようです。初心者でも育てやすく手間もかかりにくい点が特徴で、咲いた花の観賞や植物によっては実の収穫もできることから様々な楽しみ方ができます。

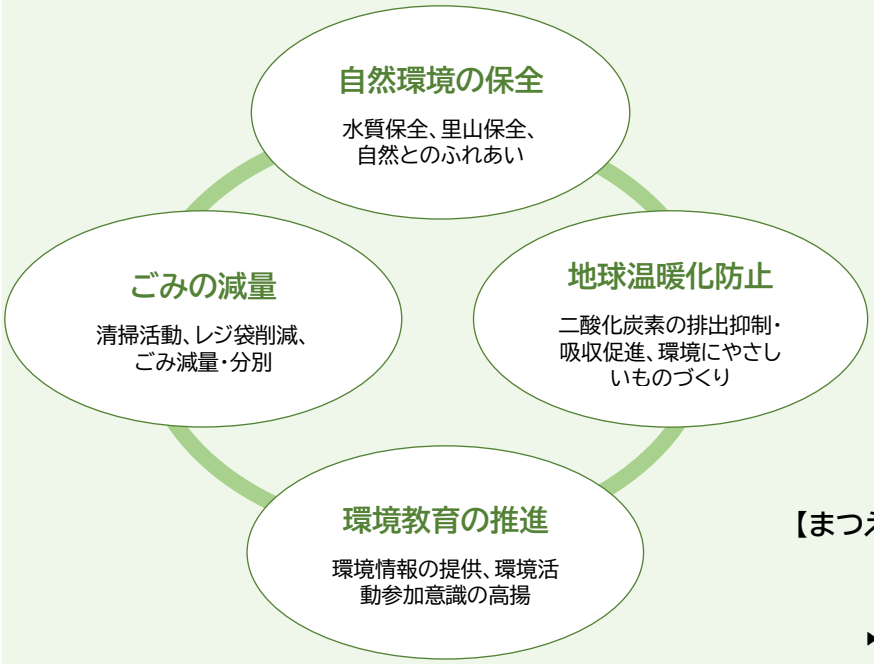
【グリーンカーテン設置の様子】
場所：松江市環境センター
（出典：まつえ環境市民会議ホームページ）

環境コラム

「まつえ環境市民会議」とは？

まつえ環境市民会議は、市民・事業者・行政が協力して、身近な環境活動を実践するために2007（平成19）年に設立された市民組織です。自然環境の保全・ごみの減量・地球温暖化の防止・環境教育の推進の4つのテーマを柱に活動しており、さまざまな環境保全活動について、みんなで考え、自分たちにできることから取り組んでいます。なお、活動の様子は、ホームページや会報誌など様々な手段を通じて発信しています。（参考：令和5年度事業計画、P99取組6-2-（3））

2024（令和6）年3月末時点で、個人会員273名、団体会員49団体、法人会員106法人のみなさんと一緒に活動しています。まつえ環境市民会議で、一緒に活動してみませんか。



【まつえ環境市民会議　会報誌　第36号】
令和5年11月発行

▸「まつえ環境市民会議」に関する情報はこちら（まつえ環境市民会議ホームページ）

まつえ環境市民会議の会員になるには？

【申し込み方法】 以下の①または②の方法でお申し込みください。

① まつえ環境市民会議ホームページ内のお問い合わせフォームから申し込む。
② 入会申込書をダウンロードして、メールか FAX、郵送で送付する。
③ 入会申込書を事務局窓口に提出する

【年会費】

個人会員：　1口　1,000円
団体会員：　1口　2,000円
法人会員：　1口　3,000円

▸「まつえ環境市民会議（会員募集）」に関する情報はこちら（まつえ環境市民会議ホームページ）

※　不明な点があれば、まつえ環境市民会議事務局（TEL：0852-25-0881）までお問い合わせください。

基本方針1　市民・事業者が率先して行う「省エネルギー」の推進

関連する SDGs のターゲット▸

Action1－2　断熱性能・気密性能が高い建物や高効率機器の導入促進

「産業部門」「業務その他部門」「家庭部門」からの二酸化炭素（CO_2）排出量を削減する

市民　が取り組むこと

- 環境活動やセミナーなどに参加する
- 啓発用パンフレットやインターネットなどから情報収集する
- ZEH（ゼッチ）や複層ガラスなど、断熱性能・気密性能が高い住宅にする
- 省エネルギー家電やエネファームなど、高効率機器の導入や買い換えを行う　など

事業者　が取り組むこと

- 環境活動やセミナーなどに参加する
- 啓発用パンフレットやインターネットなどから情報収集する
- ZEB（ゼブ）や複層ガラスなど、断熱性能・気密性能が高い住宅にする
- エネファームや高効率ヒートポンプ給湯システムなど、高効率機器の導入や買い換えを行う　など

市民・事業者の取組を推進するために

松江市・まつえ環境市民会議・関係事業者

は次のことに取り組みます

1－2－（1）　啓発活動
1－2－（2）　高効率機器の導入支援
1－2－（3）　温泉施設への高効率機器導入

【詳細は次のページから】

※1－2－（3）の取組は、脱炭素先行地域共同提案者と共同で実施します

Action1－2
断熱性能・気密性能が高い建物や高効率機器の導入促進

断熱性能・気密性能が優れた建物（ZEB（ゼブ）・ZEH（ゼッチ）など）やLED照明やエネファームなど高効率機器の導入が進むように、松江市・まつえ環境市民会議では、啓発活動や導入支援等を行います。

1－2－（1） 啓発活動

市民・事業者に、ZEB や ZEH をはじめとした「断熱性能・気密性能が高い建物」や「エネルギー消費量が少ない高効率機器」に関する支援制度などの情報発信を行い、導入によって得られる効果・メリット等を様々な手段を用いてお伝えします。

対象：市民

- 環境に配慮した良質な住宅を増やすために、国の長期優良住宅認定制度や住宅性能表示制度、省エネルギー住宅に関する減税制度等を周知します。

対象：市民　対象：事業者

- 住宅やビルなどの建築物のエネルギー消費量を把握し、省エネのアドバイスを受ける「省エネルギー診断」、住宅やビルで使うエネルギーを節約するための管理システム「HEMS（ヘムス）(※1)」・「BEMS（ベムス）(※2)」に関する制度等の情報を周知します。

（※1）「Home Energy Management System（ホーム・エネルギー・マネジメント・システム）」の略語で、家庭で使うエネルギーを節約するための管理システムのこと。家電や電気設備とつないで、電気やガスなどの使用量をモニター画面などで「見える化」したり、家電機器を「自動制御」する。
（※2）「Building Energy Management System（ビル・エネルギー・マネジメント・システム）」の略語で、ビル内で使うエネルギーを節約するための管理システムのこと。IT を利用して業務用ビルの照明や空調などを制御し、最適なエネルギー管理を行う。

▶ 相談窓口については、111ページの⑧⑨㉓をご覧ください

環境コラム

住宅の中で室温に影響がある熱の出入りは、どこが大きいのでしょうか？

熱は建物の様々な所から出入りしますが、開口部、つまり「窓」が最も熱の出入りが大きいといわれています。最近の住宅の断熱性能は向上していますが、断熱性が高くない窓ガラスを有する住宅もあります。

住宅の断熱性能を効果的に高めるためには、窓ガラスを「二重サッシ」や「複層ガラス」にすることで、効率的に部屋を快適な温度に保つことができます。

【住宅における冬の熱の出入りの様子】
（平成4年の省エネ基準で建てた住宅モデルの例）
（出典：COOL CHOICE ウェブサイト（環境省ホームページ））

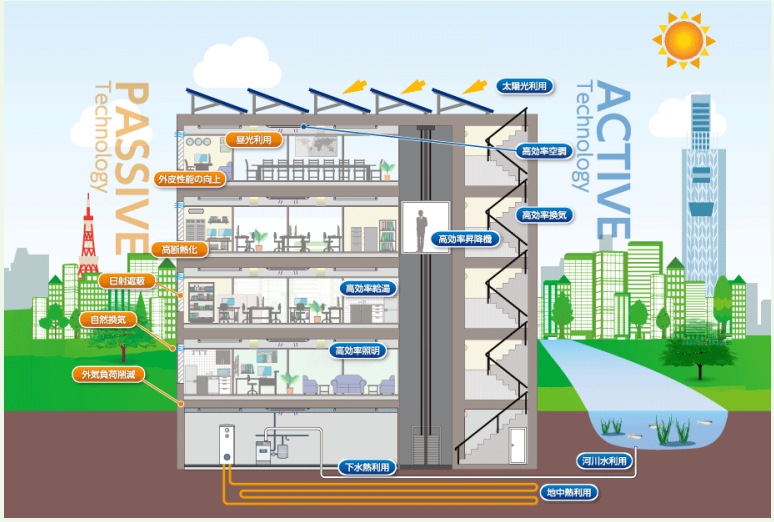
▶「環境省の補助金「既存住宅の断熱リフォーム支援事業」」はこちら（執行団体の公益財団法人北海道環境財団ホームページ）

▶「窓の断熱テクニック」に関する情報はこちら（環境省ホームページ）

環境コラム

「(ZEB(ゼブ)・ZEH(ゼッチ)」とは？

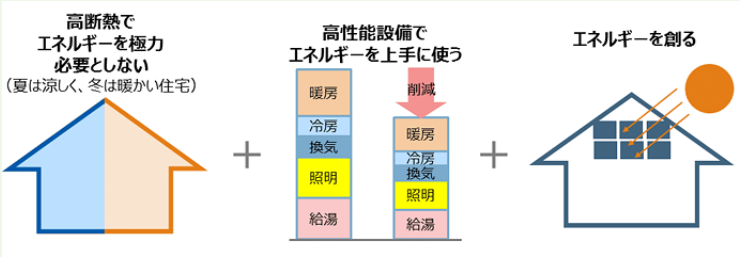
ZEB(ゼブ)とは、Net Zero Energy Building(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)の略称で、快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した**建物**を指します。使うエネルギーを減らす省エネと、使う分のエネルギーをつくる創エネによって、「光熱費の削減」「快適性・生産性の向上」「不動産価値の向上」「事業継続性の向上」といったメリットがあります。



【ZEB】
(出典:ZEB PORTAL ウェブサイト(環境省ホームページ))

▸「ZEB(ゼブ)」に関する情報はこちら(環境省ホームページ)

一方、ZEH(ゼッチ)とは、Net Zero Energy House（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)の略称で、窓等の断熱性能等の向上や、高効率機器・再生可能エネルギーの導入により、ZEB 同様、快適な室内環境と年間のエネルギー収支ゼロ以下を同時に実現する**住宅**を指します。光熱費の削減等のほか、太陽光発電・蓄電池の設置による「停電時の非常電力の確保」がメリットとして見込まれています。



【ZEH】 (出典:経済産業省ホームページ)

▸「ZEH(ゼッチ)」に関する情報はこちら(経済産業省ホームページ)

対象：市民　対象：事業者

1－2－（2） 高効率機器の導入支援

家庭用燃料電池システム（エネファーム(※)）を家庭、事業所に導入する際に、設置費用を支援する制度を引き続き設け、必要に応じて制度の拡充を検討します。

また、松江市ガス局では、エネファームをご使用の家庭に向けてのお得な料金プラン「エネファームプラン」に加え、松江市と同額の設置費用支援制度を設け、普及を図ります。

【エネファーム】
（出典：松江市ガス局ホームページ）

【2023（令和5）年度　松江市再生可能エネルギー機器等導入促進事業】
－松江市環境エネルギー課

補助対象機器		補助率	補助額上限
家庭用燃料電池システム（エネファーム）（リース等も対象）	住宅用	設置経費の1/10（千円未満の端数は切り捨て）	上限額140,000円
	事業所用		

▸「再生可能エネルギー機器等導入の補助制度」に関する情報はこちら（松江市ホームページ）

【2023（令和5）年度　エネファーム導入W補助金】－松江市ガス局

対象者	補助額上限
上記の補助の交付を受けるエネファーム設置者で、松江市ガス局と都市ガスの小売供給契約を締結する者	上限額140,000円

（※）ガスから取り出した水素を空気中の酸素と反応させて発電し、そのときに発生する排熱でお湯を沸かす機器のこと。

また、町内会・自治会および地区連合会へLED防犯灯の新設および取替にかかる費用の一部を支援する制度を引き続き設けることで、LED照明の普及に努めます。

▸「LED 防犯灯の設置支援制度」に関する情報はこちら（松江市ホームページ）

▸ 相談窓口については、111ページの⑩⑪⑫をご覧ください

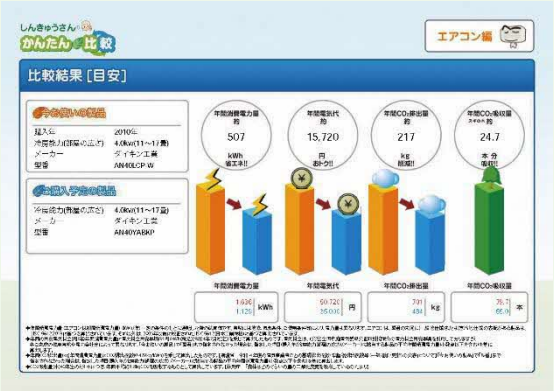
環境コラム

「しんきゅうさん（省エネ製品買換ナビゲーション）」を使ってみよう

「しんきゅうさん」とは、今使用している家電を省エネ家電に買い換えた場合の、電気代や二酸化炭素（CO_2）排出量の削減量などをわかりやすく見ることができ、環境省が運用しているシステムです。

パソコンやスマートフォンなどから簡単にアクセスできるので、家電の買い換えの際などにぜひ使ってみてください。

▸「しんきゅうさん紹介ページ」に関する情報はこちら（デコ活ウェブサイト（環境省ホームページ））



【画面表示イメージ（しんきゅうさん）】
（出典：デコ活ウェブサイト（環境省ホームページ））

脱炭素先行地域での事業

1－2－(3) 温泉施設への高効率機器導入

脱炭素先行地域に選定された松江しんじ湖温泉エリア・玉造温泉エリアの給湯設備を対象に、「高効率ヒートポンプ給湯システムの導入」と「温泉排水熱活用」により、二酸化炭素（CO_2）排出量の削減を図ります。

○高効率ヒートポンプ給湯システムの導入

既存の給湯システムに対して、現状のエネルギー使用実績データの確認や現地調査を行い、使用状況にあわせた最適システムを本市・共同提案者とともに検討します。

○温泉排水熱の活用

温泉排水槽に熱交換器を設置し、従来捨てられていた排水から熱を回収・活用し、ボイラ等への給水を温めることによりエネルギーの削減を図ります。

▶ 相談窓口については、111ページの㉓をご覧ください

基本方針2

市民・事業者が率先して行う「4R」の推進

Action2－1　Refuse（リフューズ）の推進　～必要のないものは断る～

Action2－2　Reduce（リデュース）の推進　～ごみの排出量を減らす～

Action2－3　Reuse（リユース）の推進　～繰り返し使う～

Action2－4　Recycle（リサイクル）の推進　～資源として再び利用する～

基本方針2　市民・事業者が率先して行う「4R」の推進

関連する SDGs のターゲット▸

Action2－1　Refuse（リフューズ）の推進　～必要のないものは断る～

「廃棄物分野」からの二酸化炭素（CO_2）排出量を削減する

市民　が取り組むこと

- 環境活動やセミナーなどに参加する
- 啓発用パンフレットやインターネットなどから情報収集する
- マイバッグ、マイボトル、マイ箸を持参する
- 過剰な包装を断る　など

事業者　が取り組むこと

- 環境活動やセミナーなどに参加する
- 啓発用パンフレットやインターネットなどから情報収集する
- マイバッグの推進
- 過剰な包装をしない　など

市民・事業者の取組を推進するために 松江市・まつえ環境市民会議　は次のことに取り組みます

2－1－（1）　啓発活動
2－1－（2）　エコバッグを忘れた際のレジ・ごみ袋利用　　【詳細は次のページから】

Action2－1
Refuse（リフューズ）の推進　～必要のないものは断る～

マイバッグの持参や過剰包装を断るなど、環境に配慮した選択や行動を推進するために、松江市・まつえ環境市民会議では啓発活動や行動の実践に向けた仕組みづくり等を行います。

まつえ循環プロジェクトの一環として行われている「まつえファーマーズマーケット」では、来場者へマイバッグ持参を事前にSNSで呼びかけています。また、会場内ではマイバッグをお持ちでない方に向けて、再利用の紙袋を設置したり、カゴバッグの販売等をしています。

対象：市民　対象：事業者

2－1－（1）　啓発活動

市民・事業者に、「Refuse（リフューズ：断る）」の取組に関する情報発信として出前授業や展示等を行い、マイバックの推進生活や事業の中で実践できる行動の例や行動変容によって得られる効果・メリット等を様々な手段を用いて周知します。

▶ 相談窓口については、111ページの㉓をご覧ください

環境コラム

「まつえ循環プロジェクト」とは？

まつえ循環プロジェクトは、松江市の豊かな自然環境を後世に引き継いでいくため、松江市を環境にやさしい循環型（4R）の「暮らしができる社会」へ転換させていくことを目的に、まつえ循環クリエイティブディレクターの新羅慎二（湘南乃風　若旦那）さん監修のもと、市役所若手職員が中心となって、新たに立ち上げたプロジェクトです。

【まつえ循環プロジェクトでの取組】

- **タンスコンポストの推進（生ごみの資源化）**
  ・・・廃棄されるタンスで木製コンポストを制作し市有施設へ設置する。
  → Recycle・Reduce（リサイクル・リデュース）
- **まつえファーマーズマーケットの開催（地元食品の地産地消・交流・情報発信）**
  ・・・地元産品の販売、ヨシストローづくりワークショップ、まつえ環境市民会議の活動紹介
  → Refuse・Reuse（リフューズ・リユース）

▶「新羅慎二×上定市長クロストーク（まつえファーマーズマーケット）」に関する啓発動画はこちら（YouTube：松江市公式チャンネル）

【まつえファーマーズマーケットの様子】 場所：松江湖畔公園（岸公園）

▶「循環プロジェクト」に関する情報はこちら（松江市ホームページ）

▶「まつえファーマーズマーケット」に関する情報はこちら（まつえファーマーズマーケットホームページ）

対象：市民

2－1－（2） エコバッグを忘れた際のレジ・ごみ袋利用

買い物の際に、エコバッグを忘れた場合や、エコバッグに入りきらない量の買い物をした際、レジ・ごみ袋（松江市指定の家庭用ごみ袋（もやせるごみ））を利用できる取組を市内の27件の小売店で行っています。（2024（令和6）年3月末時点）

使用後はもやせるごみの袋として活用できることから、プラスチックごみの削減につながる取組としており、市民や販売店舗でのご意見を参考にしながら行います。

2023（令和5）年の夏休み期間に、小中学生を対象としてレジ・ごみ袋のイラストの募集を行いました。寄せられた350点以上の作品の中から、市長賞と特別賞に選ばれた2作品はもやせるごみの袋（10リットル・20リットル）に印刷し、2024（令和6）年1月より上記の販売店で販売されています。

【レジ・ごみ袋の販売状況（レジの横）】
場所：みしまや楽山店
（出典：松江市ホームページ）

【エコバッグを忘れた際のレジ・ごみ袋利用のイメージ】
（出典：松江市ホームページ）

▶「エコバッグを忘れた際のレジ・ごみ袋利用」に関する情報はこちら（松江市ホームページ）

▶「レジ・ごみ袋のイラストの入賞作品」に関する情報はこちら（松江市ホームページ）

【レジ・ごみ袋のイラストの入賞作品（市長賞・特別賞）】 （出典：松江市ホームページ）

▶ 相談窓口については、111ページの⑰をご覧ください

基本方針2　市民・事業者が率先して行う「4R」の推進

関連する SDGs のターゲット▸

Action2－2　Reduce（リデュース）の推進　～ごみの排出量を減らす～

「廃棄物分野」からの二酸化炭素（CO_2）排出量を削減する

市民　が取り組むこと

- 環境活動やセミナーなどに参加する
- 啓発用パンフレットやインターネットなどから情報収集する
- ごみを分別する
- 生ごみの水切りをする、食べ残しをしない
- 食材を買いすぎない、詰め替え商品を選ぶ
- 飲食や買い物の際には、食品ロスなどごみの排出削減に取り組んでいる店を積極的に利用する（「まつえ DANDAN 食べきり運動協力店」など）

事業者　が取り組むこと

- 環境活動やセミナーなどに参加する
- 啓発用パンフレットやインターネットなどから情報収集する
- ごみを分別する
- 詰め替え商品を選ぶ
- 食品ロスの削減に取り組む
- 「まつえ DANDAN 食べきり運動協力店」として登録する　など

市民・事業者の取組を推進するために

松江市・まつえ環境市民会議　は次のことに取り組みます

2－2－（1）　啓発活動
2－2－（2）　ごみの適正分別
2－2－（3）　まつえ DANDAN 食べきり運動

【詳細は次のページから】

Action2－2
Reduce（リデュース）の推進　～ごみの排出量を減らす～

ごみを適正に分別することや生ごみの水切り、食品ロスの削減など、環境に配慮した選択や行動を推進するために、松江市・まつえ環境市民会議では啓発活動や削減に向けた仕組みづくり等を行います。

対象：市民　対象：事業者

2－2－（1）啓発活動

市民に、「Reduce（リデュース：減らす）」の取組に関する情報発信を行い、生活や事業の中で実践できる行動の例や行動変容によって得られる効果・メリット等を様々な手段を用いて周知します。

- 生ごみの水切りや乾燥など、もやせるごみの排出量を減らすために家庭でできる取組の情報を周知します。また、取組を推進するために、まつえ環境市民会議と共同でパンフレットや水切りネットの配布を行います。

【ごみ減量啓発活動（水切りネットの配布）】
場所：イオンスタイル松江
（出典：まつえ環境市民会議ホームページ）

- 生ごみを堆肥に変えることができるコンポストなどの情報を周知し、活用を促すことで、もやせるごみの排出量削減を目指します。
  まつえ循環プロジェクトでは、タンスを再利用して作ったタンスコンポストを使って市内4ヶ所で生ごみの堆肥化に取り組んでいます。

- 食品ロス削減に向けた啓発動画を島根大学や環境団体と共同で作成し、YouTubeなどを通じて情報を発信することで、より多くの方の目に触れる機会をつくります。

【食品ロスに関する啓発動画（島根大学・松江市）】
※YouTube

▸「タンスコンポスト」に関する情報はこちら
（Instagram：まつえ循環プロジェクト）

▸「食品ロス」に関する啓発動画はこちら
（YouTube：松江市公式チャンネル）

▸ 相談窓口については、111ページの①③⑳㉓をご覧ください

2－2－(2) ごみの適正分別

家庭・事業所から排出される、ごみの量を削減するために、指導や啓発を行い、徹底したごみの分別に取り組んでいます。

対象：市民

- ごみの分け方・出し方やごみの減量に向けた工夫、資源ごみのリサイクルの流れなどを整理した「資源とごみの分け方・出し方ガイドブック」を各家庭に配布して、適正な分別に向けて取り組みます。また、飲食用の缶・びん・ペットボトルは、市内の約500ヶ所に設置しているリサイクルステーションで拠点回収しています。

- 市民の中から選任した、「松江市生活環境保全推進員」や島根県が募集している「しまねエコライフサポーター(※)」と連携し、地域に密着した指導・啓発活動を行います。

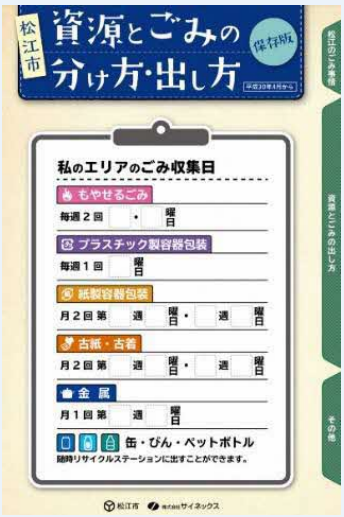
▸「松江市生活環境保全推進員」に関する情報はこちら（松江市ホームページ）

▸「しまねエコライフサポーター」に関する情報はこちら（島根県ホームページ）

(※)環境に配慮した持続可能な社会づくりを目指し、ボランティアで環境保全活動等にご協力していただける方を募集・登録する島根県の制度。

対象：事業者

- 事業者から排出されるごみを適正な分別のもと、処理していただくために、産業廃棄物と一般廃棄物の違いやごみの分け方・出し方を記載したチラシを作成します。
  チラシは、市のホームページへの掲載や商工会議所の会報誌「しょほう」への折り込み、松江市の一般廃棄物収集運搬業許可業者と協力した配布などによって各事業所へ周知・啓発を行います。



【資源とごみの分け方・出し方ガイドブック】
（出典：松江市ホームページ）

▸「資源とごみの分け方・出し方ガイドブック」に関する情報はこちら（松江市ホームページ）

【リサイクルステーションでの不適物検査（松江市生活環境保全推進員）】
（出典：松江市一般廃棄物処理基本計画、2022（令和4）年）

▸ 相談窓口については、111ページの③⑰⑱㉓をご覧ください

対象：市民　対象：事業者

2－2－(3) まつえ DANDAN 食べきり運動

食べられるのに捨てられてしまう食品（食品ロス）を削減するために、飲食店・食品小売店等において食品ロス削減に取り組む市内事業者を「まつえ DANDAN 食べきり運動協力店」として登録しています。

この取組を広く市民に周知することで、市民・事業者・行政が協働し食品ロス削減を推進します。

【武者ムシャ君】
（食品ロス削減推進キャラクター）

【飲食店・宿泊施設の登録要件】

(1)	小盛りメニューやハーフサイズメニューの導入
(2)	食べ残しを減らすための呼びかけ
(3)	食べ残し削減に向けた啓発活動
(4)	持ち帰り希望者への対応
(5)	小盛割引や食べきり割引、特典等
(6)	その他の食品ロス削減のための取り組み

※上表の(1)～(6)のうち、2つ以上行っていること

【食品小売店の登録要件】

(1)	ばら売り、量り売り、少量パックによる販売
(2)	消費期限、賞味期限間近の食品や閉店間際の割引販売
(3)	食品使い切りレシピなどを紹介するコーナーの設置
(4)	啓発グッズ（ポスター等）の設置または掲示
(5)	食品廃棄物のリサイクル
(6)	その他の食品ロス削減のための取り組み

※上表の(1)～(6)のうち、2つ以上行っていること

▸「まつえ DANDAN 食べきり運動」に関する情報はこちら
（松江市ホームページ）

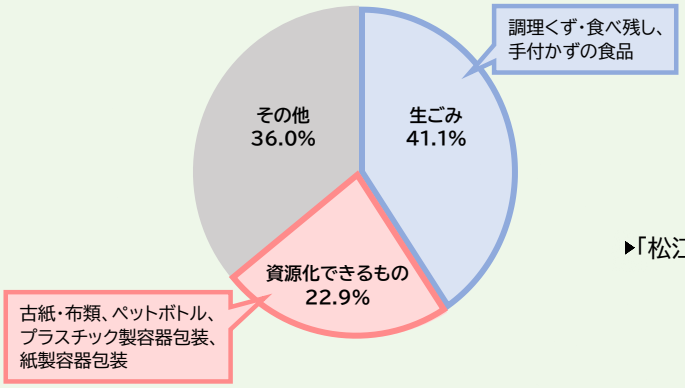
▸ 相談窓口については、
111ページの㉓をご覧ください

環境コラム

私たちが捨てる「ごみ袋の中」には何が入っているの？

松江市内で排出された、家庭のもやせるごみ袋の中に何が入っているかを調査した結果を、下のグラフに示します。約3割は調理くずや食べ残しなどの「生ごみ」で水切りや食品ロスを削減することで、排出量の削減が見込めます。また、古紙やペットボトルなど、資源化（リサイクル）できるものも約3割含まれています。

私たちが適正な分別を行うことや、出し方を工夫することによって、もやせるごみの減量に大きな効果があります。



▸「食品ロスの取組」に関する情報はこちら
（環境省ホームページ）

▸「松江市一般廃棄物処理基本計画」に関する情報はこちら
（松江市ホームページ）

【家庭から排出されたもやせるごみ袋の中身（2022（令和4）年度）】
（出典：松江市一般廃棄物処理基本計画（2022（令和4）年）を元に作成）

基本方針2　市民・事業者が率先して行う「4R」の推進

関連する SDGs のターゲット▸

Action2－3　Reuse（リユース）の推進　～繰り返し使う～

「廃棄物分野」からの二酸化炭素（CO_2）排出量を削減する

市民　が取り組むこと

- 環境活動やセミナーなどに参加する
- 啓発用パンフレットやインターネットなどから情報収集する
- 使わなくなった物を必要な人に譲る
- フリーマーケットやバザーに参加する
- 繰り返し使える物を選ぶ　など

事業者　が取り組むこと

- 環境活動やセミナーなどに参加する
- 啓発用パンフレットやインターネットなどから情報収集する
- 使わなくなった物を必要な人に譲る
- フリーマーケットやバザーに参加する
- 繰り返し使える物を選ぶ　など

市民・事業者の取組を推進するために
松江市・まつえ環境市民会議　は次のことに取り組みます

2－3－（1）　啓発活動　　【詳細は次のページから】

Action2－3
Reuse（リユース）の推進　～繰り返し使う～

フリーマーケットの開催や繰り返し使える商品の選択など、資源の循環に向けた選択や行動を推進するため、松江市・まつえ環境市民会議は啓発活動を行います。

対象：市民　対象：事業者

2－3－（1）　啓発活動

市民・事業者に、「Reuse（リユース：再利用）」の取組に関する情報発信を行い、生活や事業の中で実践できる行動の例や行動変容によって得られる効果・メリット等を様々な手段を用いて周知します。

- リユースの取組に多くの方が参加できるように、公共施設や指定管理施設（市が設置する指定管理者を置く施設）で開催される、フリーマーケットやバザーの開催情報を周知します。

- 子育て自主サークルのサポートサークルとしてご登録していただいている団体「松江おもちゃの病院」は、おもちゃを再び使えるように修理する活動を行っており、このように物を大切に繰り返し使う活動を広く市民に周知します。

【おもちゃの病院（松江おもちゃの病院）】
場所：松江市保健福祉総合センター
（出典：松江市ホームページ）

▸「リユース読本・オフィス等から発生する使用済製品リユースのための手引き」に関する情報はこちら（環境省ホームページ）

▸「おもちゃの病院」に関する情報はこちら（松江市ホームページ）

▸ 相談窓口については、111ページの㉓をご覧ください

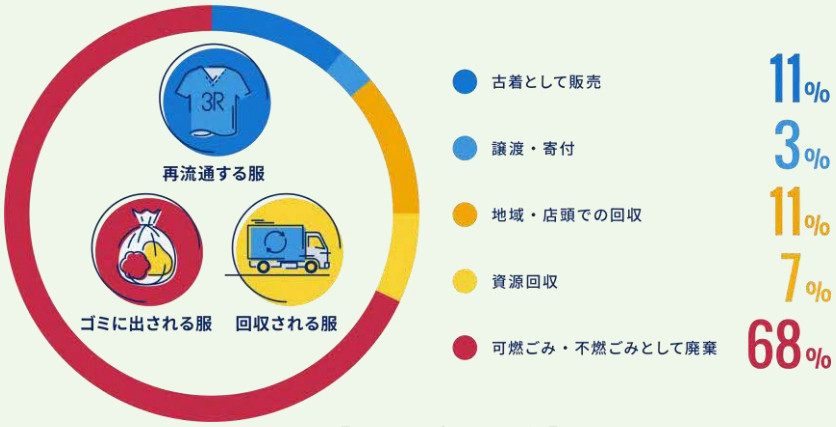
環境コラム

衣服がたくさん捨てられていることを知っていますか？

私たちが普段着ている衣服の多くが再利用・再生利用されずに捨てられていることを知っていますか？

国内では、衣服の供給数は増加する一方で、服の価格は年々安くなっています。事業者は衣服を「大量生産」し、消費者は安価であるため、多くの衣服を購入し、着なくなった衣服を短いサイクルで廃棄するため、「大量消費」している状況です。

原材料の調達・工場での製造・輸送など様々な段階を経て作られた衣服には、多くのエネルギーが使われているにもかかわらず、我々消費者が短いサイクルで廃棄するため、処理にも多くのエネルギーが必要になります。



【服を手放す手段】
（出典：サステナブルファッション（環境省ホームページ））

▸「サステナブルファッション」に関する情報はこちら（環境省ホームページ）

服の原材料調達から製造段階までに排出される CO_2 排出量などが確認できます。

これらの状況を踏まえて、近年、サステナブル（持続可能）なファッション(※)への取組が始まっています。具体的にリユースの視点で考えると、以下のようなリユースを浸透させるための仕組みが必要になります。

- 服を選ぶ際の選択肢を拡大する（服のサブスクリプション制・レンタルサービスの導入）
- リユース品に関する情報を充実する（フリマアプリ・ファッションスワップ（衣服交換会））

私たちひとりひとりが、改めて「ファッションのあり方」を考え、環境負荷の軽減につながる行動をすることが、将来に向けてとても重要になります。

（※）衣服の生産から着用、廃棄にいたるプロセスにおいて将来にわたり持続可能であることを目指し、生態系を含む地球環境や関わる人・社会に配慮した取組のこと。

基本方針2　市民・事業者が率先して行う「4R」の推進

関連する SDGs のターゲット▸

Action2－4　Recycle（リサイクル）の推進　～資源として再び利用する～

「廃棄物分野」からの二酸化炭素（CO_2）排出量を削減する

市民　が取り組むこと

- 環境活動やセミナーなどに参加する
- 啓発用パンフレットやインターネットなどから情報収集する
- ごみを分別する
- 資源化できるものは回収ボックスに持参する
  （市のリサイクルプロジェクトへの参加）
- 再生資源を利用した商品を選ぶ　など

事業者　が取り組むこと

- 環境活動やセミナーなどに参加する
- 啓発用パンフレットやインターネットなどから情報収集する
- ごみを分別する
- 市のリサイクルプロジェクトへの参加
- 再生資源を利用した商品を選ぶ　など

市民・事業者の取組を推進するために 松江市・まつえ環境市民会議　は次のことに取り組みます

2－4－（1）　啓発活動
2－4－（2）　ごみの適正分別（再掲）
2－4－（3）　事業所から排出される資源ごみの受け入れ
2－4－（4）　民間事業者と連携したプロジェクトの推進
2－4－（5）　グリーン購入の推進

【詳細は次のページから】

Action2－4
Recycle(リサイクル)の推進　～資源として再び利用する～

ごみを適正に分別することや事業者と連携した資源ごみの回収など、資源の循環に向けた選択や行動を推進するために、松江市・まつえ環境市民会議では啓発活動や資源循環に向けた仕組みづくり等を行います。

2－4－(1)　啓発活動

対象：市民　対象：事業者

市民・事業者に、「Recycle(リサイクル：再資源化)」の取組に関する情報発信を行い、生活や事業の中で実践できる行動の例や行動変容によって得られる効果・メリット等を様々な手段を用いて周知します。

- 「エコクリーン松江」や「川向リサイクルプラザ」「西持田リサイクルプラザ」などのごみ処理施設で、研修会や施設見学を行い、ごみの分別の様子や資源ごみの再生過程などを学ぶ機会をつくります。

- リサイクルできる、「使い捨てコンタクトレンズの空ケース」や「使用済みのペン」の回収ボックスを商業施設に設置し、多くの市民がリサイクル活動に参加できるような取組を進めています。(▸詳細の内容は、2－4－(4)で記載)

【リサイクル回収ボックス】
場所：イオンスタイル松江
(出典：松江市ホームページ)

▸ 相談窓口については、111ページの③⑤⑥⑦⑰⑱をご覧ください

2－4－(2)　ごみの適正分別(再掲：2－2－(2))

家庭・事業所から排出される、ごみの量を削減するために、指導や啓発を行い、徹底したごみの分別に取り組みます。

対象：市民

- ごみの分け方・出し方やごみの減量に向けた工夫、資源ごみのリサイクルの流れなどを整理した「資源とごみの分け方・出し方ガイドブック」を各家庭に配布して、適正な分別に向けて取り組みます。また、飲食用の缶・びん・ペットボトルは、市内の約500ヶ所に設置しているリサイクルステーションで拠点回収しています。

- 市民の中から選任した、「松江市生活環境保全推進員」や島根県が募集している「しまねエコライフサポーター」と連携し、地域に密着した指導・啓発活動を行います。

対象：事業者

- 事業者から排出されるごみを適正な分別のもと、処理していただくために、産業廃棄物と一般廃棄物の違いやごみの分け方・出し方を記載したチラシを作成します。チラシは、市のホームページへの掲載や商工会議所の会報誌「しょほう」への折り込み、松江市の一般廃棄物収集運搬業許可業者と協力した配布などによって各事業所へ周知・啓発を行います。

▶ 相談窓口については、111ページの③⑤⑥⑦⑰⑱㉓をご覧ください

対象：事業者

2－4－（3） 事業所から排出される資源ごみの受け入れ

事業者の分別意識の促進および資源のリサイクルを促進するため、事業者から排出されるごみのうち、古紙は市が指定する施設に自己搬入した場合は無料で受け入れを行います。また、従業員の飲食に伴い発生した缶・びん・ペットボトルは、リサイクルステーションで受け入れを行います。

▶ 相談窓口については、111ページの⑰⑱をご覧ください

対象：市民　対象：事業者

2－4－（4） 民間事業者と連携したリサイクルプロジェクトの推進

本市は、民間事業者が実施しているリサイクルプロジェクトへの参画や民間事業者と協定を結びリサイクルプロジェクトを立ち上げ、市民・事業者がリサイクルに取り組む機会をつくります。

○使用済みインクカートリッジの回収

本市は、プリンターメーカー4社（brother、Canon、EPSON、hp）がインクカートリッジの再資源化を推進する「インクカートリッジ里帰りプロジェクト」に参画し、ご家庭で使用済みインクカートリッジの回収を行っており、引き続き取り組みを行います。

○使い捨てコンタクトレンズの空ケースの回収

本市は、プラスチックごみの減量・資源化を目指して、HOYA 株式会社アイケアカンパニーと CHANGE FOR THE BLUE しまね実行委員会と3者で協定を締結し、公共施設などで使い捨てコンタクトレンズの空ケース回収を行っており、2024（令和6）年3月時点で、約98,200個を回収しています。

今後、市内の高校や専門学校、事業所などへ回収ボックスを設置することで、プラスチックごみの資源化を推進していきます。

▶「使用済みインクカートリッジの回収」に関する情報はこちら（松江市ホームページ）

▶「使い捨てコンタクトレンズの空ケースの回収」に関する情報はこちら（松江市ホームページ）

○使用済みのペンの回収

本市は、資源の効率的な利用を目指して、株式会社パイロットコーポレーションと連携し、ペンなどの使用済み筆記具の回収プログラムを行っており、2022（令和4）年12月時点で、約7kgを回収しています。

市はこの取組を広く市民に周知することで、資源の効率的な利用を推進していきます。

【リサイクル回収ボックス】
場所：松江市役所（出典：松江市ホームページ）

○ガンプラランナー（プラモデルの枠の部分）の回収

本市は、プラスチックごみの減量・資源化を目指して、株式会社BANDAISPIRITS、株式会社バンダイナムコアミューズメント、株式会社ロジパルエクスプレス、株式会社バンダイナムコホールディングスの4社が共同で実施している、「ガンプラリサイクルプロジェクト」のリサイクル回収ボックスを松江市総合体育館に設置し、不要となったランナー（プラモデルの枠の部分）を回収しており、2024（令和6）年3月時点で、337.87kgを回収しています。

本市は、この取組を広く市民に周知することで、プラスチックごみの資源化を推進します。

©創通・サンライズ

【ガンプラランナー回収ボックス】
場所：松江市総合体育館

▸「使用済みのペンの回収」に関する情報はこちら（松江市ホームページ）

▸「ガンプラランナーの回収」に関する情報はこちら（松江市ホームページ）

▸ 相談窓口については、111ページの⑰㉓をご覧ください

対象：市民　対象：事業者

2－4－（5） グリーン購入の推進

本市は、グリーン購入法に基づく基本方針(※)に基づき、率先して環境物品等（環境負荷低減に資する製品・サービス）の調達を推進するとともに、環境物品等関する適切な情報提供を促進することにより、需要の転換を図ります。

（※）グリーン購入法第6条に基づき、国、独立行政法人および特殊法人が環境物品等の調達を総合的かつ計画的に推進するために定めるもの。国等の機関が特に重点的に調達を推進する環境物品等の種類である特定調達品目およびその判断の基準について規定している。

▸「グリーン購入法」に関する情報はこちら（環境省ホームページ）

▸ 相談窓口については、111ページの㉓をご覧ください

環境コラム

松江市ではどのようなものがリサイクルされているの？

松江市では、資源として回収したものは「西持田リサイクルプラザ」、または「川向リサイクルプラザ」を経た後に、リサイクル工場で新たな製品に生まれ変わり、私たちの生活で使われています。

【リサイクルのフロー図】

（出典：「資源とごみの分け方・出し方ガイドブック」（松江市））

基本方針3

移動手段の見直しや自動車利用の工夫による「スマートムーブ(※)」の推進

- Action3－1　公共交通機関・自転車・徒歩で移動する
- Action3－2　エコドライブを実践する
- Action3－3　環境にやさしい車両・燃料の普及・導入
- Action3－4　環境にやさしい観光周遊モビリティの充実

(※)ガソリン車を中心としている移動手段を見直し、温室効果ガス排出量の削減を見直す取組のこと。公共交通機関の利用促進やエコドライブの実践、環境対応車両への乗り換えなどが挙げられます。

基本方針3　移動手段の見直しや自動車利用の工夫による「スマートムーブ」の推進

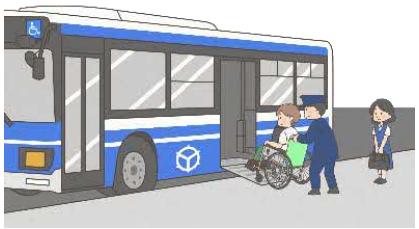
関連する SDGs のターゲット▸

Action3－1　公共交通機関・自転車・徒歩で移動する

「運輸部門」からの二酸化炭素（CO_2）排出量を削減する

市民　が取り組むこと

- 環境活動やセミナーなどに参加する
- 啓発用パンフレットやインターネットなどから情報収集する
- 公共交通機関・自転車・徒歩で移動する
- ノーマイカー運動に参加する　など



事業者　が取り組むこと

- 環境活動やセミナーなどに参加する
- 啓発用パンフレットやインターネットなどから情報収集する
- 公共交通機関・自転車・徒歩で移動する
- ノーマイカー運動に参加する　など

市民・事業者の取組を推進するために 松江市・まつえ環境市民会議　は次のことに取り組みます

3－1－（1）　啓発活動
3－1－（2）　自転車道・歩道の整備
3－1－（3）　ノーマイカー運動

【詳細は次のページから】